

17

サステナビリティ視点からの
商品開発実践セミナー

(旧セミナー名：SDGs×商品開発実践セミナー)

対象

●研究開発や技術開発の中でサステナブルを見据えた開発が求められる方々
 ●新商品開発や新事業開発で新たな視点を求められる方々
 ●商品企画・事業企画部門で独自商品・サービスの企画が求められる方々
 ●社内ベンチャーや社内提案制度にエントリーを予定している、またはエントリーしている方々
 ●人材開発部門で、サステナブルを見据えた開発を技術者教育として求められる方々
 ●ビジネス知識として、新商品開発の基礎を知っておきたい方々

ねらい・特徴

社会環境において、サステナブル視点からの商品開発にどのように取り組んでいけばよいかを事例や現場体験からわかりやすく解説します。サステナブルな商品開発は大半の企業が目指すテーマであり、若手社員にとっても商品開発の基礎的な知識とスキルと学んでいただく内容となっています。

顧客・エンドユーザー視点だけでなく、自社製品のライフサイクル全体(原材料生産から廃棄まで)に視野を広げ社会課題を解決する思考を学んでいきます。

世界各国で実際に社会課題解決に取り組んでいる専門家と各社の新商品開発をリアルタイムで支援しているコンサルタントが講師陣としてタッグを組み、豊富な経験から事例を解説し、グループ演習を通じて学ぶ実践的な内容となっております。

会期・開催地

会場(東京) 2024年11月22日(金)

講師 (敬称略)

池田 裕一 (株)日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント

上原 有恒 博士(農学) / (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル

石塚 周太 (株)日本能率協会コンサルティング コンサルタント

参加料 (税込)

日本能率協会法人会員: 56,100円/1名

会員外: 61,600円/1名

(注)テキスト(資料)費が含まれております。

プログラム

(昼食12:30~13:30)

時間

1日目

10:00

1. ビジネスモデルにおけるサステナビリティ

- 公開資料を基にサステナビリティの視点を整理する

グループ演習1 社会課題が記載された情報を読み、取り組むゴールを決める。

2. サステナブル商品開発が求められる背景

- 既存コンテンツ+社会課題解決の好循環モデル

3. サステナブル視点からの商品開発の基本ステップ

- 自社製品ライフサイクルに着目したニーズ抽出

- ニーズ/シーズ仮説

- 新ソリューション仮説

- 現地・現場観察

- コンセプト検証

4. ニーズ/シーズ仮説

- 自社製品ライフサイクルに着目しニーズを抽出する

- マインドマップを作成し、課題解決の因果関係を整理する

- ニーズ/顧客マップで自社の強みと効用からアイデアを抽出する

5. 現地・現場観察 ～途上国の現地・現場観察事例～

- 途上国の社会課題

- ミスマッチの発見

6. 新ソリューション仮説

- 取り組むべき課題と経営資源とのマッチング ～国内の社会課題とのマッチング事例～

グループ演習3 社会課題解決コンセプトシートを作成する

- ビジョン

- 商品(シーズ)

- 現状認識/活用できる資源

- 成果(SDGs)

- 課題(ニーズ)

7. コンセプト検証

- 現地・現場でのコンセプト検証事例

8. 新商品検証

- 市場実証の評価視点

- 検証による商品プロモーション

グループ演習4 新商品テーマをサステナブル指標で評価する

- 発表に対するコメント、ディスカッション

17:00